

Color Atlas of Anatomy
A Photographic Study of the Human Body
「解剖学カラーアトラス」

Erlangen-Nürnberg 大学教授 Johannes W. Rohen 共著
神奈川歯科大学教授 横地 千 仞
防衛医科大学教授・解剖学第二講座
木 村 邦 彦

本書は、西ドイツの Erlangen-Nürnberg 大学の J. W. Rohen 教授と神奈川歯科大学の横地教授の共著になるものである。Maryland 大学の E. C. B. Hall-Craggs 教授の協力を得た 英文版の Color Atlas of Anatomy; A Photographic Study of the Human Body の日本語版に当たる。この図譜の特色は、その序にあるように、主に模式図あるいは半模式図で示されている従来の図譜で表現できない三次元的立体像を求めて、実際の解剖標本の写真を用いたことにある。これにより、真実をより正確に伝えることができる、という。本書は、系統解剖学的ではなく局所解剖学的に、しかも肉眼解剖実習の場合のように表層から深層へと解剖図が展開していつている。更に、神経、脈管の分布、筋の走行と機能を示す模式図を加えて、局所的な解剖図に拡がり関係とを持たせ、纏まりのある理解を助けている。この実際の解剖標本による写真アトラスが、今日の解剖遺体の不足に悩む医学教育を補うことができることを願っている。

本書は、I. 総論のあと、II. 頭部、III. 頸部、IV. 体幹、V. 上肢、VI. 胸部内臓、VII. 腹部内臓、VIII. 泌尿生殖器官およびIX. 下肢の順に局所解剖学的に編纂されている。I. 総論では、まず模式図による人体の構成と内臓の位置の説明に続いて、成人と小児の全身骨格、骨化、骨の構造の写真があり、関節の形態学的種類が模型と実物標本を対

比させて説明される。筋、神経系と脈管についても同様に標本と模式図を適宜配置して、やや詳しい説明文で記述され、導入部の役を果たしている。局所解剖学的に編纂されたとされるII章以下は、説明文を省きながら、細かい工夫がなされている。例えば、IX. 下肢は、解剖標本による骨、靱帯と関節、筋の系統解剖学がまず図示される。更に模式図を加えた血管、腰神経叢の総論の説明がある。続いて、いわゆる解剖学実習の手順による大腿前面、殿部、大腿後面、膝部、下腿、足の局所解剖学的図が展開するように、各章とも系統解剖学的な把握を忘れている。本書が目的としている医、歯科学士の解剖学実習の際への配慮、人体の構造を部分のみならず全体として理解するためと考えられる、著者の良識である。そのほか、どの部分をとっても図1つ1つの美しさと、細かい配慮に感嘆させられる。例えば中枢神経系の各図は色付けされた標本写真を含めて、これまでの脳のアトラスを凌ぐ説得力を見せている。

日本語版は英文版に準拠しているが、必要に応じて解説を加えて理解しやすくしてある、というのが、あくまでアトラスであって、図で物語るように構成されている。図にはそれぞれ1行ほどの簡単な説明があるだけで、多くの引出し線と解剖学名が主役である。引出し線には番号が振られ、その周囲の空間に番号順に日本語と英語の学名が列挙されている。索引も日本語と英語で用意され

ている。

一読して、まず驚かされるのは各図の見事さと、細かな工夫である。各標本の剖出手技の巧みさに加えて、西ドイツの印刷技術をやはり高く評価しなければならない。ここに用いられている肉眼解剖写真が必ずしも綿密、かつ完全な計画のもとに準備されたものでない、多少の不揃いは否めない、と著者らは断っているが、模式図を加えて補い、ほぼ目的を果たしているようである。実際の解剖標本の持つ迫力が、写真撮影、図版作成の優れた技術によって、まさに読者を圧倒する。各図は解剖学的知識と共に人体の構築の巧みさと美しさを伝えてくれる。しかしそのあまりの見事さはこれだけが真実であるという錯覚を引き起こさないかと恐れる。模式図の後に拡がる人体の変異が忘れられるのではないかというのは単なる老婆心であるだろうか。解剖学名が日本語と英語だけでラテン語が省かれているのは、英語の医学用語がより一般的になってきている今日の傾向とはいえ、ラテン語学名を医学入門の第一歩としてとにかく覚えようとしている日本の学生には残念である。一方、既に解剖学以外の分野あるいは臨床方面で活躍している方々には、これまで触れることの少なかった英語の解剖学名を知り、慣れるのに便利であるとも言える。

なにはともあれ、本書は、例をみない解剖標本による写真図をもとにしたアトラスであり、また実に見事にそれを完成させており、学生ばかりでなく医学者、臨床医家の座右にあって、医学の新しい糧となるであろうと信ずる。著者をよく知る者は、その長い年月にわたる努力と精進に心から敬意を表すると共に、その努力の結晶ともいふべき本書の刊行を称讃してやまない。

A 4 判 442 頁 図 34 写真 94 原色図 615 色図 137 1985 ¥9,800 ㊦ 400

医学書院 刊